

令和4年9月7日

2022 奥会津スタディツアー2 開催のお知らせ

「地域と共に21世紀的課題に立ち向かう福島大学」の教育・研究理念のもと「奥会津スタディツアー2」を実施いたします。この活動は、地域実践特修プログラム「みらいバス」の一環として、人口減少・高齢化が大きな社会的課題となっているなか、これからの中山間地の地域づくり・地域の持続可能性について現地に赴いて学修するスタディツアーです。取材ご希望の方はお問い合わせ先までご連絡ください。（福島大学「校友会」支援事業）

記

テーマ：人口減少・高齢社会の「奥会津地方」の地域づくりを学修する

日時：令和4年9月30日(金)～10月1日(土) (1泊2日)

場所：福島県大沼郡金山町・只見町・三島町・柳津町

参加者：福島大学生（学類生・大学院生）25名、教職員3名

内容：9月30日(金)

- ・金山町役場で関係職員より「地域づくり」の説明
- ・太郎布地区での「かすみ草」収穫体験
- ・「只見線代行最終バスありがとうセレモニー」支援活動
- ・柳津温泉宿泊

10月1日(土)

- ・只見線乗車(会津柳津～会津川口間)
- ・「JR只見線の再開イベント」支援活動

※講師や参加者への質問を行う場合は、企画進行上支障のない範囲でお願いします。

金山町は、令和2年国勢調査（総務省統計局）で、高齢化率60.9%（全国4位、福島県内1位）で、過疎化・高齢化が深刻な地域です。只見川電源開発のダム建設時（昭和35年頃）は1万人を越えていた人口が令和4年で約1900人にまで減少しています。しかし住民は、沼沢湖「ヒメマス」（栽培漁業）、かすみ草・赤カボチャ栽培など地域の農産物・特産物の生産、只見線沿線の「霧幻峡の渡し」が注目されるなか、地域社会の持続可能性を求めて「地域づくり」を続けています。

平成23年7月の豪雨災害以来不通の「JR只見線」の11年ぶりの「再開」支援活動を通してこれからの地域社会のあり方を考える取り組みです。

（お問い合わせ先）

教育推進機構 特任助教・狩野 剛

電話：024-504-2872 携帯：080-1827-2194

メール：r530@ipc.fukushima-u.ac.jp